



ご紹介

高精度保証シール

卓越したウォッチメイキングに新たな基準を打ち立てます

概要：

- ・ **マニファクチュール工房の核心となる哲学を体現：**ジャガー・ルクルトのマニファクチュール工房が新たに制定した品質保証シールは、高い計時精度と時計づくりにおける最高水準の仕上げを保証するものです。高級時計づくりの伝統的な価値観を守りつつ、絶え間ない革新を続けていることの証
- ・ **クロノメトリーの精度：** 実使用環境における負荷をシミュレートするように設計された、統合された特許取得済み*の試験プロトコルに裏打ちされた、新たな品質保証シール
- ・ **仕上げの精度：** ムーブメントの精巧な仕上げと装飾を保証する品質基準

精度と革新への絶え間ない追求に基づき、ジャガー・ルクルトは、卓越した時計づくりを示す新たな独自基準である「高精度保証（HPG）シール」を導入します。すべての時計に対しての徹底的な試験および検査プロセスを経て付与される「HPG シール」は、ケースバックに刻印された品質保証シールによって証明されています。これは、高級時計づくりにおける 2 つの基本的な側面、実使用時の環境をシミュレートした条件下でテストされた「クロノメトリーの精度」、そしてムーブメントの仕上げと装飾が、マニファクチュール工房が定める基準を満たしていることを保証する「仕上げの精度」を融合させたものです。

Watches and Wonders 2026 で「マスター・コントロール・クロノメーター」コレクションを初披露したジャガー・ルクルトの「HPG シール」は、高級時計づくりの伝統的な価値観とサヴォアフェールを守りつつ、絶え間ない革新を追求するというジャガー・ルクルトの哲学を体現しています。「HPG シール」は、ジャガー・ルクルトのすべてのコレクションに順次導入されます。

第 1 章：計時の精度の絶え間ない探求：ホールマークの歴史

海洋における精度の起源：17 世紀後半、世界的な海上貿易の発展に伴い、計時精度の向上を追求する動きが大きく加速しました。経度を正確に測定するためには、海上でも極めて高い精度を維持できる時計が必要とされ、その結果、18 世紀を通じてマリンクロノメーター技術に大きな進歩がもたらされ、現代の精密な計時技術の基礎が築かれました。

海洋での計時の先駆者：その先駆者の一人がエドモンド・ジャガーです。彼は 1880 年代後半にはすでに精密な時計づくりの分野で確固たる地位を築いていました。1900 年代初頭、彼の「魚雷艇」時計は、その信頼性と精度の高さから、公式計時コンクールで際立った評価を得ました。その後、その



専門知識が認められ、彼は「**Horloger de la Marine de l'État**（王国海軍専属時計師）」という名誉ある称号を授与されました。海軍用精密機器の開発における彼の貢献を物語っています。

国際的評価：19 世紀後半、アントワーヌ・ルクルトは、計時精度における専門知識により、国際的にますます高い評価を得るようになりました。パリやロンドンなど、主要な国際博覧会への出展で、作品がメダルを受賞したことは、彼の功績をより広く知らせ、国際的な舞台での名声を確立するきっかけとなりました。こうした栄誉は、機械的に製造されたキャリバーにおいて達成された極めて高い精度と仕上げの品質を特に高く評価するものであり、いかにして技術的性能がますます高度化する製造手法と融合し得るかを示しました。ジャガー・ルクルトのヘリテージギャラリーに展示されているメダラー一覧表にも示されているように、これらの受賞は、時計づくりにおける技術的な卓越性と革新性という、ジャガー・ルクルトへの高い評価を確立する一助となりました。

専門分野の拡大：クロノメトリーの進歩が新たな可能性を切り拓くにつれ、時計職人たちは、ますます過酷になる環境の要件に応えることが求められました。重力が計時精度に及ぼす影響は、根本的な技術的課題となり、より高度な解決策が生み出されました。1940 年代、航空分野では独自の要件が求められ、過酷な飛行環境においても最適な視認性、堅牢性、そして確かな信頼性を発揮するパイロットウォッチが開発されました。1948 年、ジャガー・ルクルトは「パイロット マーク 11」を発表。このモデルは、ジャガー・ルクルトを代表する航空用時計の一つとなり、この分野におけるジャガー・ルクルトの卓越した技術力を今に伝える存在となりました。陸、海、空を問わず、こうした絶えず変化する課題が、時計のデザイン、機能性、そしてクロノメーター性能の進歩を牽引し続けてきました。

天文台の試験による検証：時計づくりの卓越性を測る指標としてクロノメーター性能の重要性がますます高まるにつれ、天文台の試験は、マニュファクチュールがその専門知識を実証するための厳格な枠組みとなりました。ジュネーブ、ヌーシャテル、ブザンソンの主要な天文台では、計時に対して厳格な試験が実施され、マニュファクチュールは計時技術の卓越性を競い合いました。1946 年、ジャガー・ルクルト初のトゥールビヨン搭載懐中時計「キャリバー170」が、権威あるヌーシャテル天文台クロノメーターコンクールで優勝しました。

1960 年代の終わり頃までに、クォーツ技術の台頭により時計づくりの様相は一変し、伝統的な天文台コンクールは徐々にその中心的な役割を失っていきました。1973 年に「スイス公式クロノメーター検定協会（COSC）」が設立されたことを契機に、機械的な精度を認定するための新たな枠組みが誕生し、スイスのクロノメーター認定における独立した基準が確立されました。

ジュネーブの遺産を守る：クロノメーター認定と並んで、ホールマークは長きにわたり、出処、品質、そして職人技を保証する役割を果たしてきました。ジュネーブでは 1601 年に、世界初の時計職人組合「**Maîtrise des Horlogers de Genève**」が設立され、1886 年にはジュネーブ大評議会が、ジュネーブの時計づくりの評価と品質基準を守るために「**ポワンソン・ドゥ・ジュネーブ**（ジュネーブ・シー



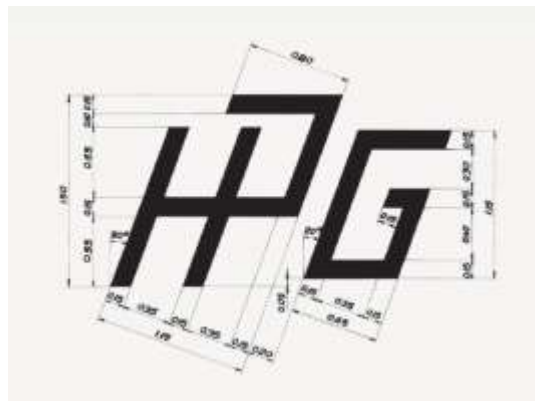
ル) 」を導入しました。時が経つにつれ、この独立した認定の伝統は、大手マニュファクチャールにも影響を与え、独自の基準やシールを開発するきっかけとなりました。1992 年、こうした取り組みが実を結び、「1,000 時間コントロール」が誕生しました。これは、完全に組み立てられたジャガー・ルクルトの時計の性能と信頼性を評価するために設計された、厳格な社内試験プロトコルです。

第 2 章：マニュファクチャール工房、すべての工程で精度を極める

あらゆる工程で卓越性を追求：マニュファクチャール工房では、各部品の製造から、すべてのタイムピースの最終組み立てや仕上げに至るまで、時計づくりのあらゆる工程において卓越した技術が発揮されています。製造工程全般において、ごく小さな部品の機械加工に至るまで、厳格な品質管理により、妥協のない精度が保証されています。しかし、ジャガー・ルクルトの志は、単に製造技術を極めることにとどまらず、常にその先を目指してきました。その目標とは、完璧な職人技が光るだけでなく、日常の着用において最高レベルの精度と信頼性を兼ね備えた時計を生み出すことです。

精密技術の先駆的なビジョン：1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、時計づくりにおける基本理念として「精度」を追求し続けてきました。1844 年に、ミクロン単位の測定が可能な最初の計器である「ミリオノメーター」が発明されたことで、部品の製造における精度がさらに向上し、より高度なキャリバーの開発が可能となりました。

この卓越した技術は当然ながらクロノメーター性能にも及び、1950 年代の「フューチャーマチック」や「ジオフィジック」といった腕時計にその真価が発揮されました。1970 年、「ポラリス II」はこの長年にわたる追求に、「高精度保証」という名称を与えました。その名は、革新的な 4Hz キャリバーの象徴として、ダイヤルに刻まれています。



1992 年、マスター・コントロールの登場は、「1,000 時間コントロール」の導入により、重要な節目となりました。この厳格な検査プロトコルは、完全に組み立てられた各時計の性能、信頼性、品質を評価するために策定され、精度と卓越性における新たな基準を打ち立てました。

新たな次元の高精度：「高精度保証」の名称が初めて登場してから 50 年以上が経ち、ジャガー・ルクルトは「HPG シール」を通じて、この歴史ある名称を新たな時代へと導きます。マニュファクチャール工房が持つ、製作のあらゆる段階における卓越した技術と、試験およびクロノメーター性能に関する数十年にわたる専門知識を活かし、ジャガー・ルクルトのタイムピースに新たな独自の基準を打ち立てました。



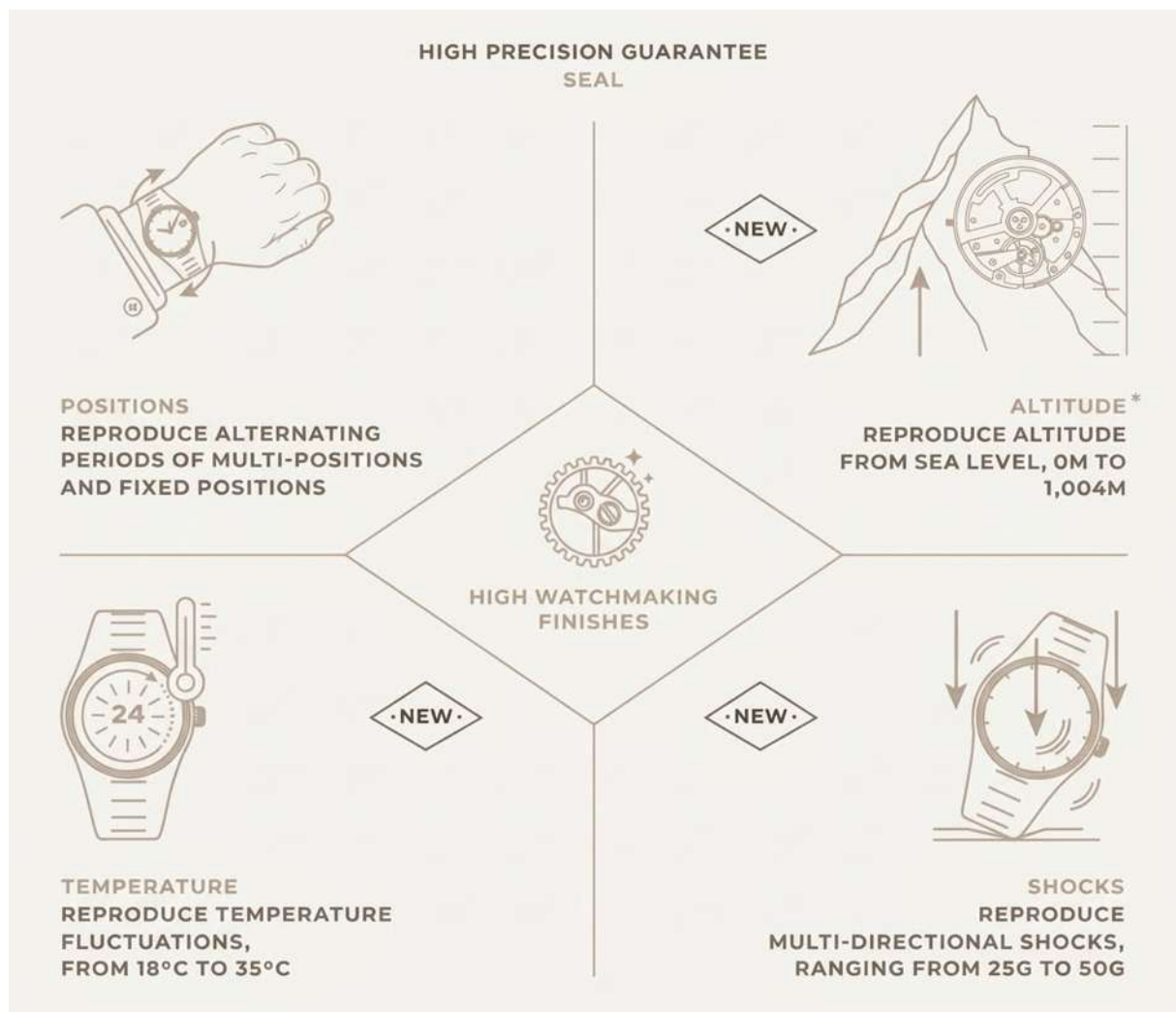
その厳格な認定プロセスでは、革新的な統合プロトコルに基づいて実施される複数の試験を組み合わせることで、タイムピースの精度、信頼性、品質を検証しています。同時に、「HPG シール」は、ジャガー・ルクルトの「高級時計製造」という理念と切り離せない、ムーブメント仕上げにおける厳格な基準を保証するものです。

統合された製造技術、厳格な試験、そして卓越した仕上げを融合させた「HPG シール」は、ジャガー・ルクルトが絶えず追求し続ける精度と卓越性への取り組みを、最新の形で体現しています。HPG 認定を受けたすべてのタイムピースは、徹底した検査プロトコルを経ており、一つひとつがジャガー・ルクルトの厳格な基準を満たしていることが保証されています。

第3章：精度、品質、信頼性の新たな証

過酷な条件下でのシミュレーション：実使用環境における精度を評価するため、新しい「HPG シール」は、4 つの厳しい条件下で時計の性能をテストします。最初の試験はキャリバー単体で行われ、残りの3つの試験はケースに組み込まれた状態の時計に対して行われます。

- **高度：**海拔 0 メートルから 1,004 メートル（ル・サンティエにあるジャガー・ルクルトのマニュファクチュール工場の標高）までの気圧の変化をシミュレートします。
- **多方向衝撃試験：**25G から 50G の範囲で、複数の標準化された位置に衝撃が加えられます。
- **姿勢差：**複数の位置と固定された位置が交互に繰り返されます。
- **温度：**18° C（安静時をシミュレート）から 35° C（活発な身体活動をシミュレート）までの変動を再現します。



*高度：キャリバー単体で実施



特許取得済み*の動的なプロトコル：これらのパラメータを個別に評価するのではなく、専用

に開発された HPG 試験機を用いて、さまざまな負荷を同時に加えながら、各時計に交互のサイクル試験を実施します。2 日間にわたる動的な着用サイクルでは、固定された位置、複数の位置での動作、衝撃を組み合わせることで、活動的な平日の動きを再現します。3 日目には、時計は固定された位置で「安静」サイクルに移行



し、週末に時計を休ませている状態を再現します。この統合された特許取得済み*のプロトコルにより、時計は、理想的な実験室環境をはるかに超えた、着用者の生活におけるあらゆる場面において、クロノメーター精度を維持することが保証されます。

精度を超える美しさ：精度と耐久性にとどまらず、「高精度保証（HPG）シール」は、ムーブメントの仕上げにおける卓越した水準を認めるものです。この技術は、もともと摩擦やまぶしさを軽減するために用いられていましたが、18 世紀および 19 世紀にかけて、美しい光の戯れへと進化を遂げました。ジャガー・ルクルトにとって、精巧な仕上げは精度と切り離せないものです。ムーブメントの性能を高め、その機構の美しさを引き立てるためには、ミクロン単位の精度で仕上げを行う必要があります。「高精度保証（HPG）シール」の認定を受けるには、時計は以下の 8 つの伝統的な仕上げ技法のうち、少なくとも 6 つを採用する必要があります。

- **面取り：**部品の 90 度のエッジを削り出し、鏡のような輝きが出るまで磨き上げます。
- **光沢仕上げ：**金属部品、特に軸の圧縮および研磨を行い、耐久性と表面硬度を高めます。
- **サーキュラル・スムージング：**微細な研磨剤を用いて、滑らかでマットな円形の質感に仕上げます。
- **直線磨き：**微細な研磨剤を用いて、平らな表面に均一で平行な、マットなラインを施します。
- **宝石の皿穴加工：**プレートやブリッジの宝石の穴の周囲に、研磨・面取りを施した凹みを形成し、完璧なフィットを確保するとともに、潤滑剤の保持性を高めます。
- **コート・ド・ジュネーブ：**大型の部品に平行な波状の模様を施し、光を拡散させて微細なほこりを目立たなくさせます。
- **ペルラージュ装飾：**プレートやブリッジに重なり合う円形の模様を配し、反射を和らげます。
- **ポリッシュ仕上げのスクリューヘッド：**すべてのスクリューヘッドを研磨し、完全に平らな光沢のある表面に仕上げます。



第4章：高精度保証の新たな一章

2026 年 4 月に開催された Watches & Wonders Geneva において、「マスター・コントロール・クロノメーター」コレクションとともに「高精度保証（HPG）シール」を導入したジャガー・ルクルトは、2027 年を皮切りに、この認定を各コレクションへと順次拡大していく予定です。「マスター・コントロール・クロノメーター」コレクションへの導入にあたり、各キャリバーは、COSC 認定を取得した後、ジャガー・ルクルトのより包括的な HPG 試験プロトコルを経ることで、精度、品質、信頼性の基準をさらに高めています。

「高精度保証シール」は、計時精度と洗練された装飾芸術という 2 つの側面を重視しており、ジャガー・ルクルトが伝統的な高級時計製造の価値観を重んじつつ、コレクションの革新と進化を絶えず追求している姿勢を体現しています。

*特許出願中

ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™

1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渴望に導かれ、故郷ジュウ渓谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™として知られるマニュファクチュール工房は、1,400 を超えるキャリバーの制作と 430 以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、190 年以上にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。82 の工房、108 の職人技、235 の技法（うち 69 は独自の技法）を結集したマニュファクチュール工房は、その技巧に、デザインの美しさと独特で控え目な洗練とを組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。

jaeger-lecoultre.com